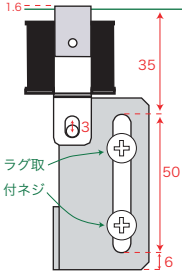


CubeMic・DS-X 取扱説明書

2010.5/27 バージョン

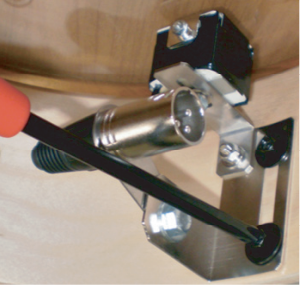
【1】 取付方法と調整方法

胴のエッジ



ボルトを受ける金具【ラグ】を胴に止めるネジが、胴の内側にあり、いろんなタイプがありますが、大体ネジの太さはM4～M6迄、数は1～2個。エッジからの距離は35mm～85mmに納まる範囲である事を想定し、この金具は製作されました。更にL字型ジョイントを逆転させたり、長ナットをネジ止めて

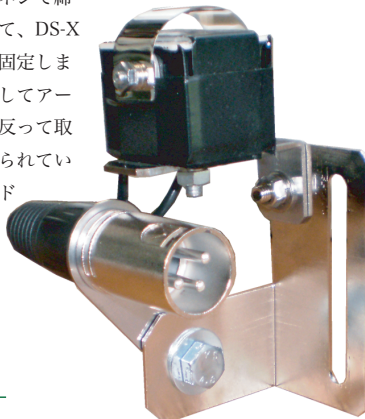
工夫する事により、右写真の様に、取り付ける事も可能です。ラグのネジを一回外



し、取付金具をラグのネジで締め付けて、DS-X本体を固定します。そしてアーチ型に反って取り付けられてい

る金属板【共振磁性体】のアーチ部がヘッドにちゃんと押し付けられ、且つCubeMic本体部が、ヘッド面に当たらない高さ=1.6mm程度アーチが突き出るように、設置します。

- 1 -



左の写真が、胴から突き出た感じです。L字型ジョイントのマイク本体取付ネジ穴の長丸3mmを用いて、ヘッドの振幅とチューニングに合わせて、位置の微調整を行って下さい。

DS-Xは全て一体型になっておりますので、XLRオス端子ジャックに、XLRメス端子プラグを挿し込みますが、小口径のタムとかに取り付けた場合、10インチ以下ですと、抜き差しが困難な場合も生じ得ます。

その場合はジャック取り付け金具と本体取り付け金具をジョイントしているM6の六角ナット型ネジナットを多少弛めて、ジャックの角度を胴の中心よりに動かす事により、プラグの抜き差しが容易になります。胴の中心方向にモノを突き出す行為は、打撃音の下への突き抜けにも影響する場所でもございますので、ジャックが抜き差ししやすい、必要最小限度に心がけて下さい。

DS-Xは、単一ヘッドのドラムに取り付ける専用となっております。もし両面ヘッドのタムとかに使用したい場合、裏面ヘッドにプラグが通る程度の穴を空けて、シールドケーブルを通しましょう。裏面ヘッドに穴を空けたくない人は、DJ-Xを使う事を推奨します。

DS-Xは、ハードケース、ソフトケース内に納まり、ドラムに取り付けたままに出來ます。

DS-Xのジャック部にキャンノン(XLR)端子ケーブルでアンプ、エフェクタ、ミキサー、専用オーディオインターフェイス等、音調整部に繋いで下さい。

DS-XのXLRオス端子の配線は、1番がシールド(グラウンド)2番がホット。3番がコールドとなっております。

パッシブタイプの為、48V電源は不要です！

決して48VをONにして使用しないで下さい！

XLR端子の入力先は、必ず、上の配線にあったものをご使用下さい。

XLR端子の配線に関する情報は、取扱説明書などに記載されている場合があります。

最後に、Highleads用MOTUオーディオインターフェイスに挿し込む場合は、バスドラムはアナログイン1、ハイタムをアナログイン3、ミッドタムならアナログイン4、ロータムならアナログイン5に挿し込む事により、好適な調整音となります。

- 2 -

CubeMic・DS-X 製品保証書

ご購入時に販売店より発行された領収書を、本保証書と共に、大切に保管して下さい。

正常な使用の元、ご購入より一年以内に修理が生じた場合、本保証書と販売時の領収書を提示する事により、購入された販売店様経由にて、無償修理をさせていただきます。

但し、乱暴な扱い、本取扱説明書で禁止されている使用により生じた故障、分解改造等、故意に為された破損に対する修理及びサポートは、一切行いません。又、輸送、移動、落下、火災、風水害、地震等に由り生じた故障も対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承の程、お願い申し上げます。

製造元	: 株式会社ハイリーズ
所在	: 東京都八王子市裏高尾町 190 番地 5
電話	: 050-3391-9719
ホームページ	: http://highleads.jp/
お問い合わせ先	: master@highleads.jp

【2】 音の処理に関して

音の処理は、個人の好みが別れる部分ですが、特徴としては、Highleadsマイクで收音された音は、中音部が張っており、高音部が小さくなっている為、中音部(500Hz～900Hz)を下げると良いかもしれません。

更に低音を持ち上げると、ドラムの残響音を強調出來ます。

細かい設定が可能な場合、バスドラムは40Hz～100Hz。ロータムは80Hz～140Hz。ミッドタムは120Hz～180Hz。ハイタムは180Hz～240Hz

辺りを持ち上げてみると、良い残響音を見つけやすいかもしれません。

高音部は、スネアーの様に、スナッピー音を強調したい場合は、5kHz～9kHz辺りを上げると良いですが、普通のドラム類は好みと別れると思いますので、自分でいろいろと弄ってみて下さい。

【3】 注意事項

1. 共振磁性体は薄い金属板ですから、横から強く指で持ったまま指を移動すると、指が切れる場合があります。くれぐれも取り扱いには慎重にしてください。
2. 電源アダプター、電源ユニット、蛍光灯等が近くにあると、ピックアップがノイズを拾います。ノイズの原因となるものからは離しましょう。
3. Highleadsマイク本体は、絶対に分解しないで下さい。
4. Highleadsマイク本体に、テープ補強をしておりますが、音質に影響はありません。
5. ユニバーサル取り付け金具の寸法的に、そのまま良い位置に行かない場合でも、L字型のジョイントを逆にしたり、ネジや長ナット等で補強する事により、ベストな位置に、Highleadsマイクを設置出来る場合がありますので、いろいろと工夫して取り付けてみて下さい。

- 3 -